

ラッカー塗装のお手入れ



普段のお手入れ

乾いた布やかたく絞った布で拭いてください。水濡れは乾いた布ですぐに拭き取ってください。よがれがついた場合は、ぬるま湯で薄めた家庭用中性洗剤を浸してかたく絞った柔らかい布でよごれを取り除いたあと、乾いた布で洗剤と水分をしっかり拭き取ってください。



輪ジミや白化した場合

変色した表層の塗膜を目の細かいサンダーパーで薄く磨きとると目立たなくすることができます。塗料まで磨きとってしまうと再塗装が必要になりますので細心の注意が必要です。(表層を磨く際は少しづつ様子を見ながら行ってください)



再塗装が可能

ラッカー塗装は再塗装が比較的容易です。表面の塗装をサンダーパーで磨き落とすと新しい木面が現れ、市販のラッカースプレーで上塗りができます。



キズの補修方法

軽いキズの場合は、水性ペンを使用することで手軽に目立ちにくくすることができます。家具と近い色のペンでキズ部分に色を染み込ませ、余分なインクは乾く前に柔らかい布で拭き取ってください。



市販の水性ペン・家具フローリング用クレヨン

家具の色よりも薄い色を選ぶようにしてください。
薄色から少しづつ濃色へと塗り重ねていくのがポイントです。
(はじめに濃い色を塗ると目立ってしまう場合があります)
へこみを作ったキズには、フローリング用のクレヨンなどでバテ埋めすることが出来ます。

ワックス仕上げのお手入れ



普段のお手入れ

乾いた布やかたく絞った柔らかい布で拭き取り、市販の無垢材用ワックスをムラなく全体的に塗り込みます。約10分後にカラ拭きして余分なワックスを取り除き、数時間乾かすとメンテナンス完了です。(数か月に一度程度のワックス塗布をおすすめします)



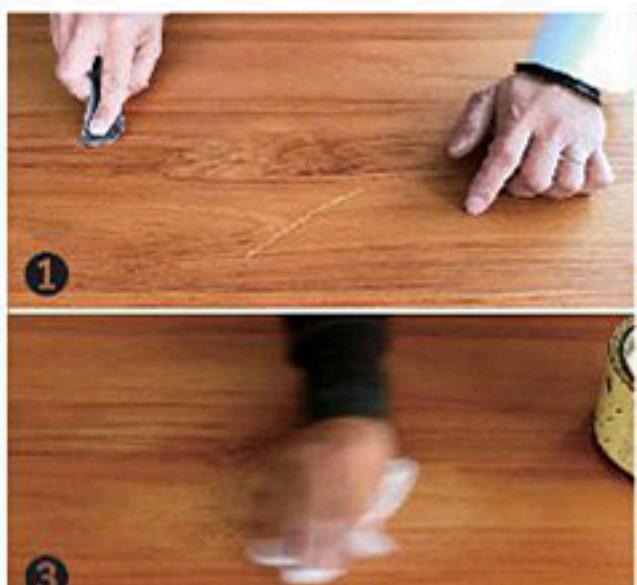
定期的なお手入れ

表面のよごれをかたく絞った柔らかい布で拭き取り、市販の無垢材用ワックスをムラなく全体的に塗り込みます。約10分後にカラ拭きして余分なワックスを取り除き、数時間乾かすとメンテナンス完了です。(数か月に一度程度のワックス塗布をおすすめします)



シミがついた場合

木目に沿ってサンダーパーで軽く削り取り、表面をならしてから市販の無垢材用ワックスを少量ずつ塗り込むと目立たなくなります。



キズの補修方法

- ① 補修に使うサンダーパー（粗めと細かめの2種）、無垢材用ワックス、柔らかい布を準備します。
- ② キズより少し広めの範囲を、目の粗いサンダーパーで全体的にならすようやすった後、目の細かいサンダーパーで凹凸が無くなる様に仕上げます。
- ③ サンドペーパーで整えた部分に、市販の無垢材用ワックスを柔らかい布により少量ずつ塗り込んでいきます。
- ④ 最初にあったひっかきキズがほぼ見えなくなりました。コップの水滴等による輪ジミもこの方法で補修する事ができます。

無塗装仕上げのお手入れ



普段のお手入れ

乾いた布や軽く絞った布などで拭いてください。水分を吸い込みやすいので、水濡れやよがれは基本的にすぐに乾拭きをしてください。(飲み物などを置く際はコースターの使用をお勧めします) コーヒーやワインなどをこぼしたときは、こぼれた液体を拭き取ったあと、たっぷりの水を含んだ布でよがれを浮き上がらせるように拭い、最後にきつく絞った布でこするように残った水分を拭き取ってください。



定期的なお手入れ

市販のチークオイルや屋外用ワックスを塗ると水やよがれから保護でき、より長持ちします。よがれを取り除いたあと定期的に塗布してください。



シミや汚れがついた場合

目の細かいサンダーパーなどで木目に沿って磨くと目立たなくなります。経年変化した表面もサンダーパーなどで磨き落とすと、また新しい表面が現れます。(磨いた部分は他と色が違う場合がありますので全体をまんべんなく磨くことをお勧めします)

Point / 劣化対策

- 使用後は屋内にしまう
- 濡れ・汚れはすぐに拭き取る